

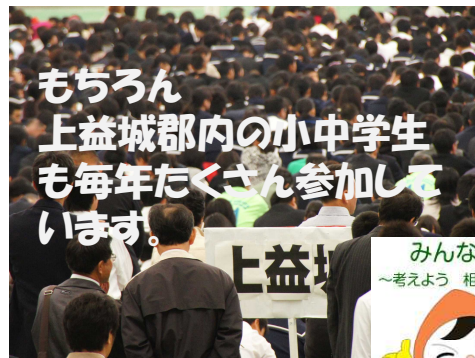
9月5日の全校集会で県人権子ども集会の紹介と参加の呼びかけをしました。



熊本県人権子ども集会に行きませんか？

10月14日土曜日、パークドーム熊本で、「熊本県人権子ども集会」が開催されます。この集会は、「部落差別をはじめあらゆる差別をなくそう」と、県内のあちこちから小学生、中学生、高校生、大学生、保護者、先生たちが総勢9千～1万人集まるものです。発表

表はもちろん、司会や運営まで中高生や大学生が行うという、正に子どもたちの手による集会となっています。今年は本部から嘉島中に発表の依頼があり、生徒会執行部と委員長の19人が集会のステージに上がることになっています。熊本地震の後、嘉島中生徒会を中心にどのようなことをがんばってきたかを発表する予定です。そこで、今回、嘉島中からぜひ応援に行きましょうという計画を立てたところです。集会当日は町から貸切バスが出ますので、「いじめや差別をなくしたい」「生徒会の発表の応援に行きたい」という人は、9月20日（水）までに担任の先生に参加希望届を提出してほしいと思います。



☆心があったかくなる作文を紹介します☆

ごめんねまあ君

（ある小学1年生の作文

『子どもを変えた親の一言 作文25選』明治図書より）

今日がっこうのかえりに友だちの子が、まあ君をいじめていました。ぼくもついいいいじめてしまいました。家にかえって、そのことをお母さんにいったら、いきなりほっぺをたたかれました。お父さんはしごとばかりかえってきて「じぶんがいじめられたら、どんなにいやかよく考えて、まあ君にあやまりにいきなさい。」といいました。ぼくはお父さんにこんなにしかられたのははじめてです。ぼくは、ほんとうにわるいことをしたと思いました。雨がざあざあふっていました。ぼくのむねはドキドキしました。きいろのかさをぎゅっともって、まあ君の家に行きました。げんかんのチャイムをおしたら、まあ君が出てきたので、ぼくはごめんねといいました。まあ君は「いいよ」といってくれました。ぼくのむねは、今までもやもやしてたのが、ばあーっとはれたみたいに気持ちよかったです。かえりに、まあ君のお母さんが「ありがとう」